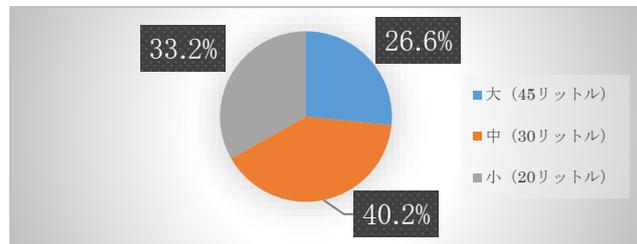


可燃ごみ指定袋に関するアンケート調査結果

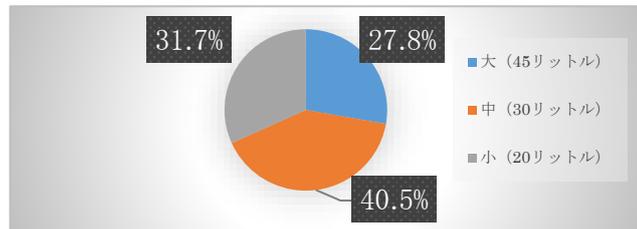
松前町では、平成18年度から可燃ごみ指定袋制度を導入し、排出量に応じた負担の公平化を図るとともに、発生抑制、再生利用の推進等を行ってきました。皆様のご協力により、家庭系可燃ごみは減少傾向にあります。

今回の調査は、可燃ごみ指定袋のサイズ・形状等に関する町民ニーズを把握し、今後の可燃ごみ指定袋制度の検証及び減量化施策の参考にするため、ご意見を伺いたくアンケート調査を実施いたしました。調査結果についてまとめましたので公表いたします。御協力ありがとうございました。

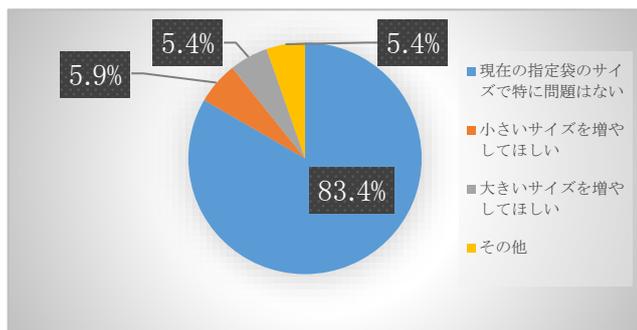
○現在、可燃ごみ指定袋のサイズは3種類ありますが、一番よく使っているサイズはどれですか。



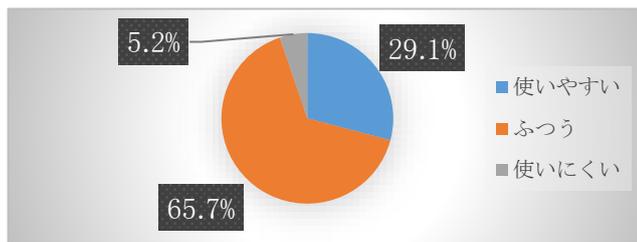
○あなたのご家庭では、1ヵ月あたり指定袋を何枚程度使用されますか。



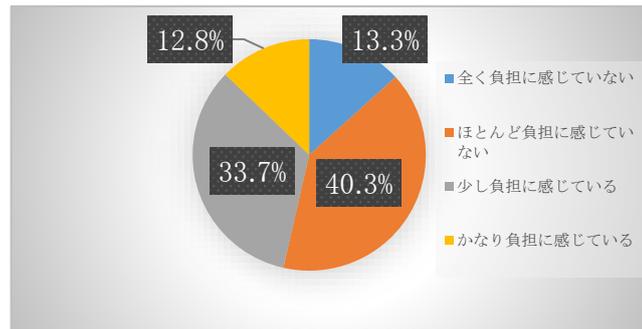
○現在の可燃ごみ指定袋のサイズ以外で要望するサイズがありますか。



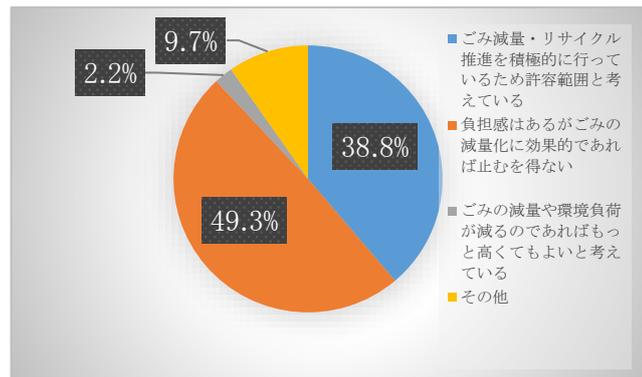
○現在の可燃ごみ指定袋についてお伺いします。



○ごみ処理経費（可燃ごみ指定袋の購入費）の負担をどのように感じていますか。



○ごみ処理料金（可燃ごみ指定袋の価格）についてどのように考えますか。



◎可燃ごみ指定袋のサイズ・形状等について

可燃ごみ指定袋のサイズについては、83.4%の方が「現在のサイズで特に問題ない」と回答しています。また、可燃ごみ指定袋については、94.8%の方が「ふつう又は使いやすい」と回答しています。この結果により、現状のサイズ・形状等で概ね問題はないと捉えられます。

◎可燃ごみ指定袋の価格等について

可燃ごみ指定袋の価格等については、「ごみ処理経費の負担をどのように感じていますか。」の間に53.6%の方が「ほとんど又は全く負担に感じていない」と回答し、33.7%の方が「少し負担に感じている」12.8%の方が「かなり負担に感じている」と回答していますが、「ごみ処理料金についてどのように考えますか。」の間の結果において、「負担感はあるがごみの減量化に効果的であれば止むを得ない」49.3%、「ごみ減量・リサイクル推進を積極的に行っているため許容範囲と考えている」38.8%、「ごみの減量や環境負荷が減るのであればもっと高くてもよいと考えている」2.2%と回答しており、可燃ごみ指定袋の料金設定や制度の趣旨については概ね理解が得られていると捉えることができます。

今後も町民ニーズを注視するとともに、可燃ごみ指定袋の販売収入の用途やゴミ処理に関する情報を町民の皆様へ提供するなどの施策を講じることにより理解を得られるよう対応していきたいと考えます。